

目 次

【巻頭言】

創立10周年に寄せて 秋山 正幸 1

【論文】

共通言語としてのドア 植竹 大輔 3

‘An Uninvited Guest at the Digital Feast’ 大森 信明 25

「5文型」成立事情—細江逸記の功罪 川嶋 正士 33

韓国の民衆歌謡の性質に関する考察
—運動と音の関係性を中心として— 齋藤 絢 55

有島武郎テキストと政治との関連性についての一考察
—原敬首相暗殺事件（192）の周縁から— 杉淵 洋一 71

李白の感覚と表現について 中元 雅昭 97

菓子「松風」について 池間 里代子 111

「ビッグ・ブラザー」と「リトル・ピープル」の作る悪
—オーウェル『1984年』と村上『1Q84』における考察— 岡田 善明 127

「水」の地政学—文明と戦争 岡崎 匡史 141

『石橋』ワキ寂照法師の人物像—時空を超えた史実と説話の接点 雨宮 久美 159

Demographic and Labor Market Experiences of Mexican Americans
in the Midwest and South 武井 勲 183

Filling the Void :The Discourse of Hiroshima/ ũkushima 松岡 直美 209

Toni Morrison's and Shakespeare's *Desdemona* 福島 昇 225

スベトラーナ・アレクシエービッチ『チェルノブイリの祈り』
を読む—チェルノブイリ原発事故をめぐる言説（1）— 安元 隆子 241

村田清風の財政改革に関する若干の考察 大淵 三洋 259

横井小楠の中庸政治思想 陳 毅 立 273

鶴見総持寺「黄君克強之碑」の背景
—黄興、滔天両家族の心情交流の結実— 井上 桂子 285

第二次世界大戦下のアメリカのメディアがみた日本
—『ライフ』が報じた日本像 平塚 博子 303

Christian Religion and the Depth of the Faith of Japanese People 高橋 章 315

【論評】

東・西・南・北憧憬ハーフ・シアリアス考 石渡 利康 327

【書評】

『島崎藤村小説研究』
劉曉芳著（北京大学出版社、2012年10月） 小田切 文洋 345

『レオニー・ギルモア——イサム・ノグチの母の生涯』
エドワード・マークス著（羽田美也子・田村七恵・中地幸共訳） 木内 徹 350
（彩流社、2014年1月）

『箱根駅伝 青春群像』佐藤三武朗著（講談社 2013年） 吉田 正紀 354

『英語教育の精神と実践
—コミュニケーションから英米文学まで』
岡田善明著（春風社 2013年4月24日 初版発行 203頁） 高橋 章 358

『名画で出会うアメリカの姿と文学者たち—植民地時代から
9.11前夜まで—』植竹大輔著（金星堂、2012年9月20日） 西 善也 361

『筒井徳二郎 知られざる剣劇役者の記録——1930～31年
22カ国巡業の軌跡と異文化接触——』田中徳一著 諸坂 成利 363

* * * * *

国際文化表現学会会則 373

執筆者一覧 388

編集後記 389

役員一覧 390